

# 運輸新聞

E-mail inquiry@unyu.co.jp URL http://www.unyu.co.jp

発行所・運輸新聞株式会社  
東京都荒川区西日暮里3-6-10  
佐々木ビル3F 〒116-0013  
TEL03-5685-0035  
関西支社 大阪市中央区瓦町1-3-2  
〒541-0048 TEL06-6209-3261  
発行人・野口香織  
火・金発行(祝日を除く)  
3,600円/月(送料・税込)

2021年  
2月12日(金)  
第17371号

http://www.e-sohko.com



倉庫のならイ  
イーソーコ株式会社  
TEL.03-5439-9401

## 首都圏 激変緩和1年延長

### NEXCO同様深夜割導入

首都圏の新たな高速道路料金について、国土交通省道路局は来年4月からの導入を目指した具体的な方針案をまとめ、社会資本整備審議会国土幹線道路部会に報告した。2016年に示した車種区分の暫定車種間比率(激変緩和措置)を来年4月まで延長、大口・多頻度割引の拡充やNEXCO高速道路と同様の深夜割引を導入する。

16年の車種区分変更により、それまで普通車と同額だった中型車は1.2倍に、普通車の2倍だった特大車は2.75倍に設定したが、中型車は1.07、特大車は2.14倍とする激変緩和措置がとられていた。その期限が今年度末に切れるが、コロナの状況を踏まえもう1年延長する。

首都圏高速道路では、現行の大口・多頻度割引は車両単位割引が20%(中央環状線の内側を通過しない交通は25%)、契約者単位割引は10%の計最大35%と設定している。NEXCOの高速道路で車両単位割引が来年3月末まで最大40%とされてきたことから、首都高速道路でも割引率の拡充を今後検討する。

首都圏各高速道路の料金水準は道路によってまちまちだが、対距離制を基本に統一する。具体的には首都高速の1キロあたり36.6円に合わせる。

## 国土交通省 早期引取・返却を

### コンテナ需給ひっ迫で要請

世界的に国際海上コンテナ輸送力および空コンテナの不足による需給のひっ迫が生じ、長期化する可能性も懸念されることから、国土交通省は荷主と物流事業者に対しては、実入り輸入コンテナの早期引き取りおよび空コンテナの早期返却、リーファーコンテナはカット日搬入、実際の予定を上回る過剰な予約(ブックイング)や直前のキャンセル抑制、可能な

現行よりも高い圏央道・海老名・久喜白濁間や横浜横須賀道路は引き下げられる一方、第三京浜、京葉道路、千葉東金道路は引き上げとなる。ただし、物流への影響を考慮し、上限料金を設定するなどの激変緩和措置を行う。

同省は、今春に具体的な方針を決定し、自治体の同意や国からの事業許可を取り付けた上で、2022年4月から新たな料金をスタートさせる。

また、両者に対してフリータイム(無料保管期間)、デマレージ(超過保管料)およびディテンション(返却遅滞料)の適切な運用を求めた。

同じく連結子会社のKS Rに譲渡し、譲渡後KS Rの社名を「トナミシス テムソリューションズ」に変更する。譲渡効力発生日は4月1日。

働きやすい職場認証1726件申請  
日本海事協会

## 健康起因事故 受診上昇もまだ低く

### スクリーニング検査 脳血管疾患で13%

今年度事業用自動車健康起因事故対策協議会が5日に開催され、最近の事故発生状況、モデル事業やアンケート調査の結果などが報告された。健康状態に起因する事故は、トラックの場合2019年は77件報告されており、前年比で22件減少したものの、ここ4〜5年は増加傾向にある。77件のうち、衝突・接触を伴い死傷者が生じたのは4件、物損は39件、残り34件は業務の中断などがあつた。

去7年間に事故を起こした運転者1891人をみると、心臓疾患(心筋梗塞や心不全など)が275人(15%)、脳疾患(くも膜下出血や脳内出血など)が253人(13%)、大動脈瘤および解離が65人(3%)で、この3つで31%を占める。このうち死亡した327人の疾病別内訳は、心臓疾患174人(53%)、脳疾患40人(12%)、大動脈瘤および解離45人(14%)で、全体の79%を占めた。

2018年度から運転者約1万人を対象にモデル事業を実施し、異常所見ありと診断された運転者の追跡調査を行っている。これにより、運転者自身の意識向上につながった、会社全体の取り組み増進につながったなどの効果がみられた。一方、「脳健診の費用負担が大

## 新社長に取締役常務の岩井氏が就任へ

### 三菱商事ロジ

三菱商事ロジスティクスは、3月31日付で代表取締役社長執行役員藤原隆也氏が退任し、4月1日付で取締役常務執行役員岩井孝介氏が代表取締役社長執行役員に就任する。

岩井氏は1965年8月4日生まれ、55歳。89年三菱商事に入社後、生活産業並びに香港、中国駐在、中東三菱商事トレーディング会社社長を経て2020年8月から三菱商事ロジスティクス常務執行役員に就任し経営企画・特命事項を担当。

## ワクチンの国内輸送3社を選定

### ファイザー社製

今月17日から接種が始まる米ファイザー社の新型コロナウイルスワクチン1億4000万回分について、政府は全国の市区町村への輸送にヤマトホールディングス、セイノールホールディングス、DHLの3社を選定した。

ヤマトホールディングスは、マイナス70度以下の遺伝子検査用試薬輸送の実用化に向けて実証実験を行っている(2面参照)。

ベルギーから日本への空輸は全日空が担当し、まず医療従事者を対象に接種が行われる。

これに先立ち、厚生労働省は全国の自治体向けにワクチンを安全に輸送するための指針をまとめる予定。

接種が行われる。これに先立ち、厚生労働省は全国の自治体向けにワクチンを安全に輸送するための指針をまとめる予定。

2021年3月期第3四半期業績と通期見通し  
(上段=第3四半期、下段=通期見通し)

単位=百万円、%

	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比
近鉄エクスプレス	424,755	3.5	22,586	44.6
センコーグループ	570,000	4.7	29,000	47.1
ホールディングス	424,603	△0.7	17,400	1.3
住友倉庫	578,000	1.4	21,000	1.7
	141,979	△1.1	7,944	△6.2
	189,000	△1.4	10,500	△5.4
丸全昭和運輸	88,793	△3.7	6,814	4.2
	127,000	3.4	9,300	4.8
C&Fロジ	84,460	0.3	4,964	17.2
ホールディングス	110,200	△0.4	5,400	11.2
日本トランスシティ	74,278	△3.2	2,987	11.2
	99,000	△2.6	3,300	△1.1
滋澤倉庫	49,237	△3.3	3,017	△8.5
	66,700	△0.2	3,700	△5.3
遠州トラック	29,328	15.9	2,353	28.9
	38,500	13.2	3,000	27.9
日本石油輸送	23,329	△6.9	639	△9.0
	32,500	△5.3	1,100	△15.6
南総通運	9,999	△9.1	1,017	△20.5
	13,625	△5.6	1,245	△12.9

新型コロナウイルスのワクチン接種の準備が進められている。今までワクチン接種と言えは弱毒化ウイルスを使った生ワクチンが不活性化ワクチンが主流であったが、今回のファイザーやモデルナ、アストラゼネカはいずれもDNAを使った全く新しいタイプのワクチンである。欧米で既に多くのの人に接種が行われ、副作用についても情報が集まりつつあるが、安全性は100%信頼が得られていない。DNAを組み換え食品にも神経質な国民性について短期的、長期的な観点できちんと説明し国民の納得を得ておかなければならない。ワクチンを打てば感染しないようにはなるのか、感染しても発症を抑えてくれるのか、重症化しないようになるのか目的をはっきりさせるべきだ。どの会社のワクチンが接種されるのか受ける方に選択権がないので、例えばアストラゼネカ製はドイツやフランスでは65歳以上には推奨しないという情報に対しては政府の説明を聞きたいところだ。日本でも大阪発創業型バイオベンチャーのアンジェスや塩野義製薬がDNAワクチンを開発して臨床試験段階まで進んでいるというが、政府はどういうバックアップをしているのか、安全保障の観点から政府の本気度を知りたい。YT(21・2・12)

蛍